

## 6 . 経済構造等比較調査

本調査では、日本の品目別、地域別の輸出入の数量指数、価格指数を作成し、これらの指数を用いて日本の貿易構造を分析した。日本の貿易構造変化の実態は、金額ベースだけでは正確に把握できず、数量と価格の要因に分けて分析することが重要である。これによって地域ごとの輸出入変化がより明確となると同時に、国別の貿易構造変化などの分析が可能となる。また、本調査では日本の貿易指数に加えて米国のデータを用いた米国版の貿易指数作成の試みも行った。

報告書では、付表 1 として部品類も含めた機械類を中心に、機械種別に輸出入数量指数、金額指数、価格指数を掲載した。また、付表 2、3 にはそれぞれ商品特殊分類別、製品と主要商品分類基準別の貿易指数を掲載している。いずれも、対世界、米国、EU15、NIEs、ASEAN 4、中国、東アジアの 7 地域別に指数を算出している。さらに、付表 4 には、アジア主要 8 ヶ国別の主要商品の貿易指数も掲載した。また暦年データは 1993～2000 年 4Q を円ベースとドルベースで、四半期データは 1997 年～2000 年 4Q を円ベースでそれぞれ示してある。最後に付表 5 として試作した米国の貿易指数を示した。